

〔団体の概要〕(NGO/NPO用)

団体名	千葉市エコリーダー連絡協議会		
所在地	〒264-0015 千葉市若葉区大宮台 6-7-5 TEL:043-262-8006 E-mail: FAX:043-262-8006		
ホームページ			
設立年月	平成 9 年 11 月 *認証年月日(法人団体のみ) 年 月 日		
代表者	木野村 秀夫	担当者	木野村 秀夫(兼務)
組織	スタッフ	79名(内専従 0名)	事務所 なし
	会員制度 (あり)	正会員 名(内訳:個人 名 / 団体・法人 名) 賛助会員 名(内訳:個人 名 / 団体・法人 名) その他会員 80名	
設立の経緯	当会は環境の保全に関し、幅広く情報の収集と交流を行う任意団体で市が毎年実施するエコリーダー養成講座終了者の有志からなるグループの集まりでコミュニケーションを通じて自己研鑽を計り、その保全に寄っています。(注)添付資料(会の紹介)参照		
団体の目的	上記参照(環境の保全目的、自己啓発)		
団体の活動プロフィール	添付資料参照 (「千葉市エコリーダー連絡協議会の概要(紹介)」)		
財政	活動事業費 (平成13年度)	会員の会費収入 24,000円	

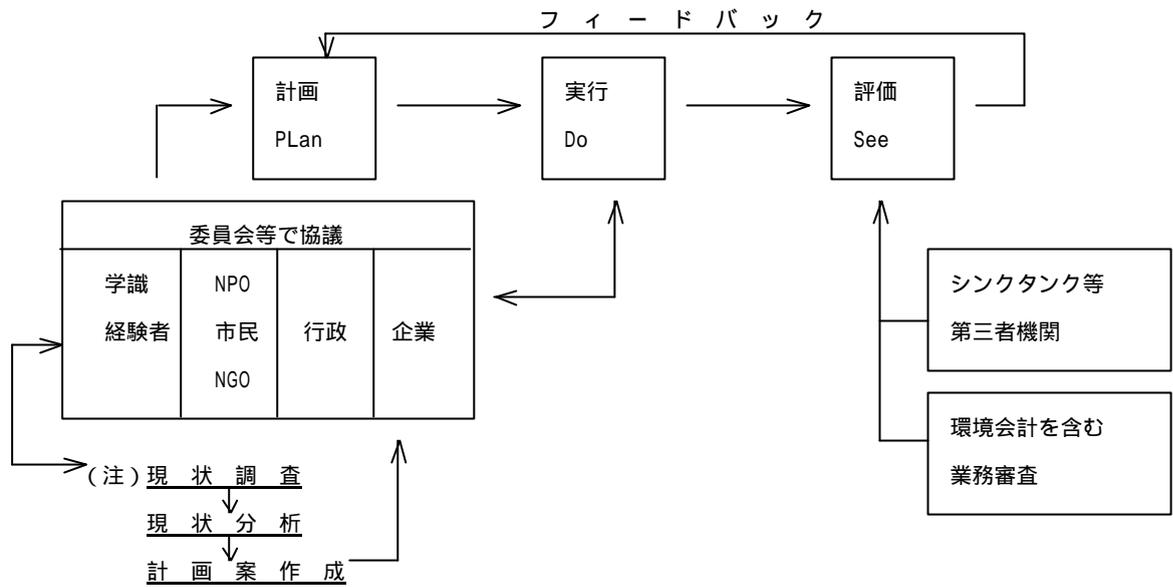
団体・企業名	千葉市エコリーダー連絡協議会	担当者名 木野村 秀夫
--------	----------------	----------------

〔政策提言の内容〕

* 政策分野・手段の番号は参考資料をもとにお書きください。

政策のテーマ	総合的環境保全体制の強化		
政策の分野	番号	9	環境パートナーシップ
政策の手段	番号	2 9	制度整備改正と組織活動
政策の目的			
環境保全の成果向上を図るため、plan、do、see、とフィードバックを積極的に相互理解のもとで進める。			
提言を行うこととなった背景および現状の問題点			
<p>行政、企業、市民のパートナーシップというより三位一体の体制づくりが、急務であり、縦割り社会はそれなりに役割分担によるメリットがあるが、不十分であるので、行財政改革へ市民の声を反映、実行するため、その間のギャップを解消し、NGOの自己啓発を計りつつ、21世紀への負の遺産を最小限にするため、私達に出来る環境対策をモットーとしたい。</p>			
政策の概要			
<p>行財政改革に市民の声を積極的に行うため、地域の特性を生かすと共に片寄りのない第三者機関の設置によるトータルシステム構築と実行（フロチャート参照）や外部会計監査以外に業務監査等総合的検討も必要と考える。（各分野の自己改革による内部提案制度の積極化を含む） （参考）</p> <p>私事で失礼だが、現役時代、東京の大企業で数10課の業務監査を担当した監査課長、統計課長等の体験からの提言。</p> <p>シンクグローバル&アクトローカルで自己啓発に努め、昨年のグローブジャパンに一般参加の機会を得、私の発言に対し環境省室長や、元文相の議員からの回答は報告書参照。今年も4月15日のシンポや発言メモを事務局から求められた。</p> <p>戦中の海軍航空機無線からコンピューターSE、夜間高工（W大付属）の実験助手14年、新入社員訓練等技術畑の体験のせいか、4月25日天皇、皇后両陛下ご臨席の国際科学技術財団の表彰式に特別参加の栄を与えられた。</p>			

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートをつけてください）



政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

上記フローチャート参照

政策の実施により期待される効果

幅広い環境の保全の維持と向上、並びに財政の効率的支出、行政、企業、市民各々の国民全体の意識向上による 21 世紀への負の遺産の減少で心豊かな社会へ「ローソクの 1 本」の効果を期待したい。

パンフレット等添付資料名

当連絡協議会の（活動等）紹介
 各種イベントにおけるアンケート調査用紙
 （ex）14 年 1 月 25～27 日（3 日間）千葉三越における消費生活展では 388 枚（名）の協力が得られ、集計分析後、行政の担当課の次年度施策への反映のため提出。